

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和7年2月7日(金) NO24 文責 ^{きした}木下 ^{ふみあき}文秋

横田早紀江さん89歳

横田早紀江さんが2月4日で89歳になったという記事を新聞で見ました。横田早紀江さんのことは以前も三股プライドで書いたことがあります、皆さんご存じの通り横田めぐみさんのお母さんです。横田めぐみさんとは、中学校の部活動帰りに北朝鮮に拉致されたまま現在も安否が確認できず、日本に戻れていない女性です。横田早紀江さんのご主人滋さんは、すでに他界されており、今現在はお一人で拉致問題に取り組んでおられ、娘さんの横田めぐみさんは私と同年代です。この拉致問題は本当に理解しがたい不愉快な事件で、手当たり次第に尊い日本人を拉致して今も消息が分からなくなっています。横田早紀江さんは、年齢のせいもあって衰えがあるのだと思いますが、テレビの露出も少なくなり心配されます。そしてこの件とは全く関係のないことですが、最近マスコミでは、いろんなタレントや某テレビ局の問題が終日放送されています。学校だよりで書くようなことではないかもしれませんが、拉致問題が解決されていない一方で、世間ではこんなトラブルが大きく報道されていることに戸惑いがあります。タレントや某局のしくじりを取り上げることより、未だ解決されていないことや、能登半島の支援のこと、埼玉県道路陥没のことを気にする人も多いのではと感ずることがあります。この件を通して、人の失敗にどうしてそこまで口をはさむのだろうかと思うことがあります。当然犯してはならないことはたくさんあります。人権に関することや法に触れること等は許されないことだと思いますけど、もっと大事にしてほしいことがあるような気がします。それにしても、横田早紀江さんのように何の罪もない人がどうしてこんなに長く苦しまなければならないのでしょうか。話は変わり、昨日は私立専願受験者等を含む、既に進路が決まった生徒を集めて集会をしました。私立専願の生徒はスポーツや調理、理容など何かの特技や資格に特化して進路を決めた生徒が殆どです。本校は、高岡伶颯という世界にはばたく先輩も輩出した学校です。大きな夢を抱いて突き進んでほしいと願います。そして今から受検に挑戦する仲間に関わり添った生活をして欲しいと思います。平凡で幸せな日々を送っている私たちは、横田さんのように未だに苦しんでいる方がいることを忘れずに、謙虚にそして感謝と奉仕の心をもって日々丁寧に生活していかなければなりません。